

立山町土地改良区・立山西部土地改良区 合併予備契約調印式

立山町土地改良区は、経営基盤の強化と運営の合理化を促進するため、平成18年2月、当時の複数の土地改良区が合併し今日に至っていますが、度重なる農業政策の転換と農村環境の変化等により、土地改良区に課せられた使命は一層多様化、複雑化しており、良好な土地改良施設を維持し、未来永劫に繋いでいくためには、盤石な組織体制の構築と更なる合理化が求められます。

平成30年12月、立山西部土地改良区から立山町土地改良区との合併の申入れを機に、令和元年7月に立山町土地改良区及び立山西部土地改良区を中心に富山県をはじめ関係機関等からなる「立山町区域土地改良区統合整備推進協議会」を設立し、両土地改良区の重複解消、総代及び役員定数など、合併に必要な事項について協議を重ねてきました。

この度合意がなされ、令和2年7月10日に立山町民会館において、立山町土地改良区、立山西部土地改良区、立山町、富山農林振興センター等の関係者約50名が出席して合併予備契約調印式が行われました。

調印式には、窪田一誠立山町土地改良区理事長（推進協議会会長）の開催挨拶、経過報告、合併予備契約書の確認の後、両土地改良区理事長（窪田一誠立山町土地改良区理事長、安田 勇立山西部土地改良区理事長）並びに立会人の舟橋貴之立山町長、南 理富山県富山農林振興センター所長が合併予備契約書に署名捺印されました。

続いて、舟橋貴之立山町長、南 理富山農林振興センター所長、亀山 彰富山県議会議員、内山 昭立山町議会議長の来賓祝辞があり、閉式となりました。

今後は、令和3年1月の合併認可を目標に、新しい「立山町土地改良区」として、受益面積2,959.4ha、組合員数2,724名となる予定です。

| 土地改良区名（合併前） | 受益面積(ha) | 組合員数(名) |
|-------------|----------|---------|
| 立山町土地改良区 | 2,356.9 | 2,260 |
| 立山西部土地改良区 | 602.5 | 549 |

